

阪部工業株式会社

<http://www.sakabekogyo.jp>

原単位の緻密な目標管理で、パフォーマンスを改善



社屋外観

■事業内容: 鋳鉄品及びアルミダイキャスト品の製造

■代表者: 代表取締役社長 阪部 幸司 氏

■本社所在地: 愛知県西尾市中畑町水荒井8番地

■創立年: 1951年

■従業員数: 235名

■認証レベル: エコステージ1 (2004年2月取得)

主な環境活動項目

- (1) 省エネルギー(電気、ガス、紙等)の推進
- (2) 廃棄物の削減
- (3) 騒音対策、排ガス削減
- (4) 環境教育の推進

背景・課題

本業にリンクした環境活動で環境経営の実現を目指す

阪部工業様は、鋳鉄品やアルミダイキャスト品の製造を行い、「中小企業で弊社新工場ほど生産性を図れる工場は少ない」と自負する鋳物部品メーカーです。一部上場企業50社と取引していることもあり、目標管理体制、教育訓練体制などマネジメントの仕組みの充実が求められてきました。また、積極的な設備投資により、省エネとともに地域社会に環境配慮企業として貢献する使命もあり、環境経営を標榜し、本業にリンクした活動を取り入れられるエコステージを導入しました。省エネ法における特定事業者(エネルギー管理指定工場)としての管理体制もいち早く構築し、相乗効果を高めていきました。

活動内容

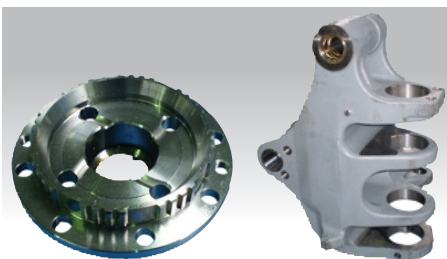
環境配慮型投資を進めながら、各部門では原単位で目標管理

- クリーン工場を目指し、騒音、振動をはじめ、特に粉塵の飛散については注意を払い、ショットプラスト設備の更新、廃砂置場の整備、集塵設備の充実など環境配慮型投資を推進。
- 新工場は、淡緑の色調のクリーンなイメージで外壁をデザインし、自然給排気による省エネタイプの建屋構造を採用。
- 執行役員制度の導入により、確実な方針展開、目標管理と進捗管理でパフォーマンス評価を実施。
- 組織に適した原単位評価を工夫、導入し、各部門単位での緻密な目標管理を展開。
- 生産戦略による非効率的な工場の休止等、ダイナミックな生産アロケーションを実施。

効果

パフォーマンスを向上し、人材育成の面でも効果を発揮

省エネでは、電気使用量、ガス使用量、鋳さい発生量、廃液発生量、コピー用紙使用量における原単位での監視測定によって、着実なパフォーマンス改善につながっています。地域社会への環境配慮としては、近隣クレームゼロを達成するなど、地道な活動、対策が効果をあげています。また、各部門別方針展開により、実績フォロー体制が確立でき、それに連動するかたちで、人材育成の面でも各種技能検定試験による技能レベルアップを果たしました。教育訓練体制も充実し、その効果は改善提案件数の実績向上に表れています。



自動車用部品

建築機械部品



各部門ごとに勉強会を実施



着実にパフォーマンスを高めた上矢田工場製造ライン

今後の計画

東南海地震など緊急事態を想定した動きとして、耐震調査や断層帯の確認指示など、事業継続を踏まえた実効的なマネジメントレビューを実施しています。業務が年々拡大するなか、より効率的なマネジメントシステムを目指し、品質、環境、安全なども含めた内部監査体制の拡充など、統合マネジメントシステムへの展開を検討していきます。

担当評価員からのメッセージ

同社では、目的・目標及び経営管理実施計画の構築・運用に際し、総量評価から原単位によるトレンド評価の導入に注力してきました。また、従来からの活動テーマを日常管理へ移行し、業務改善型テーマへシフトしています。新工場建設を契機に、活動適用範囲を全社展開し、今後は品質マネジメントとの融合に向けた運用展開が望まれます。